

# 夕日の下でのんび りセックス 義母 と息子の快楽の息 抜き

小高い山の中腹。

義母は数年前に離婚して離れ離れにな  
った息子の元へ突如戻ってきて再会を  
果たす。

「リョウタ！！元気に仕事頑張ってい  
るのね！！」

俺はその時、スーツ姿だった……。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・◦

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・◦

いつも通りの忙しい日常。

仕事終わり、夜更けに列車を下り最寄駅から自宅へ自転車で帰る途中だった。

角を曲がった住宅街の道路で白い車が停まっていた。

街灯で分かった。

横にママが立っていた。

短い、太ももに密着したスカート姿。花柄の白いキャミソールにはむっちりとおっぱいの形が浮き出ている。

夏の風が少しだけ電灯をなぞる。

少しだけ色が青い電灯。

閑静な住宅の一角。

一緒にマンションへと向かった。

二階の自室のドアを閉めるとすぐ……。

俺たちは行為に励んだ。

会えなかつた時を埋めるようなひとつ  
き。

窓から薄明かりが漏れる。  
月と星が見える。

かすかに明るく見える互いの肌で、

俺たちは朝までずっとずっとシックス  
ナインをしていた。

義母の太ももは・・・・あの頃よりもほんの少し太かった。

「トレーニングに通っているのよ」

都心に住んでいるらしい。

仕事は厳しい仕事のオフィスレディ。

時に激しいビジネスにもなったりする  
らしく……。

その時のために体力、カラダはしっかりとキープしているとのことだ。

「都会は……危険といつも隣り合わせなの……だけど刺激的よ」

俺はママのお尻の穴を舐めながら、

その危険性をしっかりと聞いた。

だからこそ刺激的・・・・・

ママは身も心もエッチに変わっていた。

(体験版は以上になります。ご読了あり  
がとうございました)